



DAIHATSU



2011年11月9日

ダイハツ インドネシア専用車

「セニア」をフルモデルチェンジ



セニア (XENIA)

ダイハツ工業株式会社（以下ダイハツ）は、インドネシア専用車である「XENIA（セニア）」、をフルモデルチェンジし、2011年11月9日（水）からインドネシアにて販売する。

セニアは、トヨタ自動車株式会社との初の共同開発として、2004年の発売以来、コンパクトなボディサイズで7人乗車を実現したパッケージングやお求め易い価格設定などが、多くのお客様からご好評いただき、インドネシア市場において、新しいジャンルを開拓したダイハツの基幹車種である。

今回のフルモデルチェンジでは、インドネシアでのニーズを踏まえ、最適な地上高やパッケージの良さを維持しつつ、多彩で便利なシートアレンジの採用や荷室の拡大などによる利便性の向上に加え、燃費性能・乗り心地・静粛性などのパフォーマンスの向上を図った。

生産は、ダイハツのインドネシアでの生産拠点であるアストラ・ダイハツ・モーターにて行い、アストラ・インターナショナルを通じて販売する。

新型「セニア」の月販目標台数は、7,000台としている。小売価格は126.6百万ルピア～156.7百万ルピア（約110万1千円～約136万3千円、税込み）。

新型「セニア」の主な変更点は

1. ダイナミック&スペーシャスなスタイリングと、先進的で上質なインテリア
2. さらに進化した使い勝手のよさ
 - ・多彩で便利なシートアレンジ
 - ・広い荷室空間
3. 先進のパフォーマンス
 - ・燃費性能を向上
 - ・乗り心地や操縦安定性、静粛性を向上

※写真のホイールキャップはディーラー装着品

以上